

ご利用案内

通常投映日時＝土・日・祝日

通常投映時間・内容(4月～6月)

11:00(幼児～小学生向け)	13:30(小～中学生向け)	15:00(高校生～大人向け)
たいようくんとおつきちゃん	おとめ座物語	3Dプラネタリウムへの招待
ポケットモンスター XY 宇宙の破片	ポケットモンスター XY 宇宙の破片	1秒ちょっと前の月
ほしのおはなし(星空解説)	星空解説	星空解説

※ご希望による投映も行います。事前予約が必要となりますので、詳細はお問い合わせください。

観覧料

高校生以上(個人)	510 円
高校生以上 (団体 20 名以上)	410 円
中学生以下	無料

☆博物館パスポート 1 枚につき、
高校生以上 1 名無料

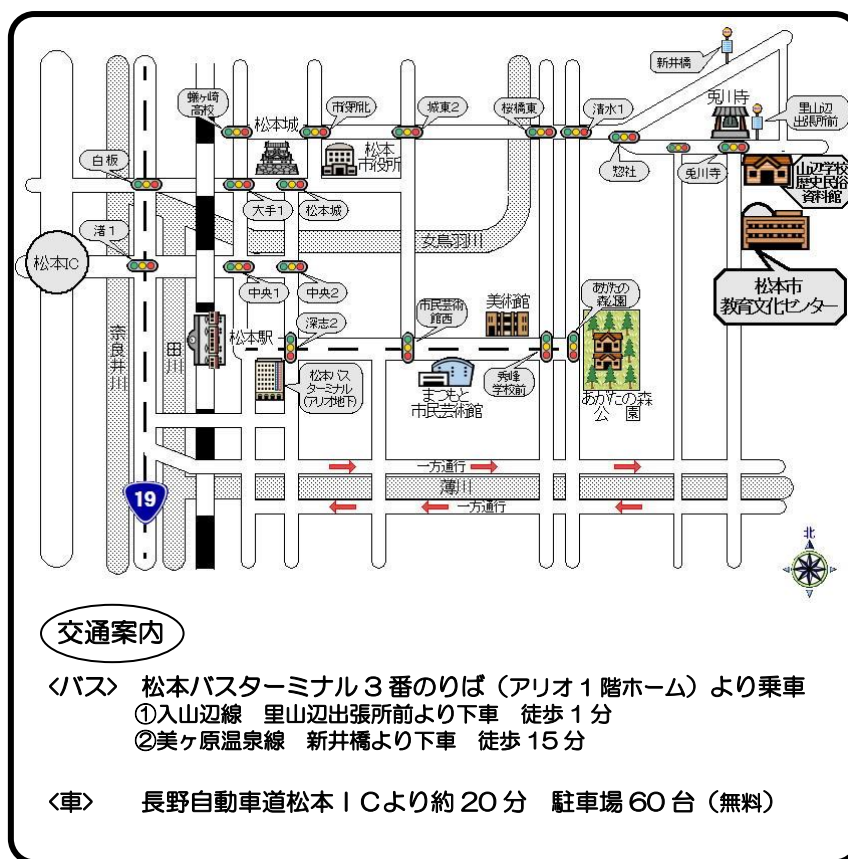
☆転入世帯優待券 1 枚につき、
1 世帯家族無料

☆障害者手帳持参により、
本人とその介助者 1 名無料

☆市内在住 70 歳以上の方は無料

☆その他、各種イベント開催時には無料

アクセス



松本市教育文化センター

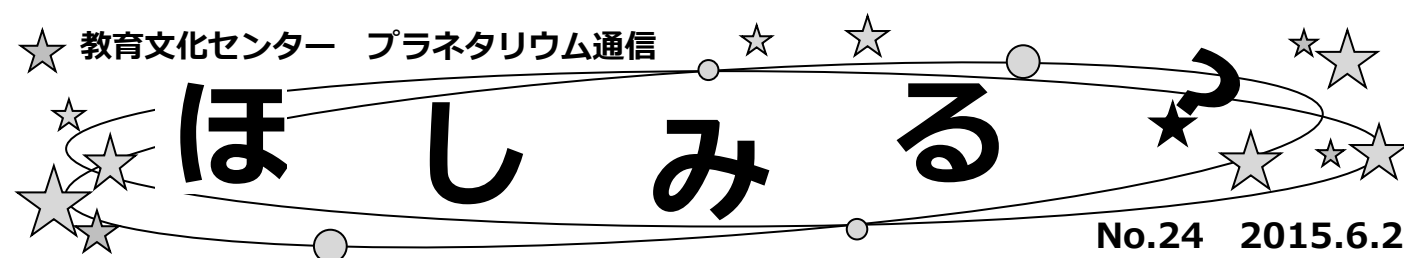
〒390-0221 松本市里山辺 2930-1

TEL:0263-32-7600 FAX:0263-32-7604

E-mail:kyoubun@city.matsumoto.nagano.jp

☆☆ 星空音楽館企画委員募集 ☆☆

当センターで行われる「星空音楽館」の企画委員を募集しています。
企画の参加、プラネタリウムで流す音源の選定、当日の受付などを行います。
興味のある方は是非ご連絡ください。



神秘の環を持つ星・土星

今回の特集は、5 月末から見頃を迎えている土星です。

大きな環を持つユーモラスな見た目から、太陽系の中でも特に人気の高い惑星です。

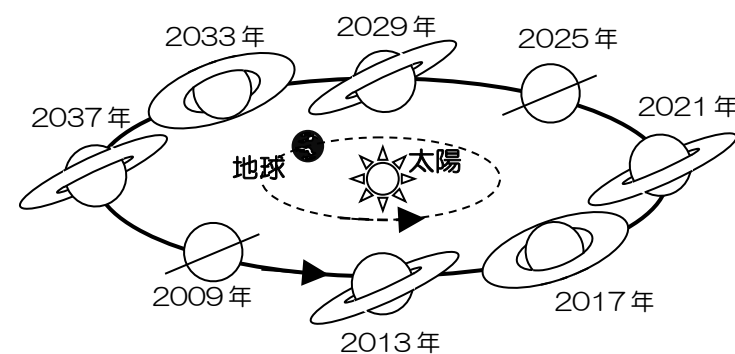
土星とは？

太陽系で 2 番目に大きな惑星です。直径は地球の約 10 倍です。水素やヘリウムなどのガスでできているため、大きさの割には軽い惑星です。

太陽のまわりをおよそ 30 年かけて 1 周します。その間に、地球から見える環の傾きは少しずつ変化をするので、年によって環が見えたり、見えなかったりを繰り返します。

ギリシャ神話では大神ゼウス (木星) の父である農耕の神クロノスの化身とされています。

地球から見た土星の傾きの変化

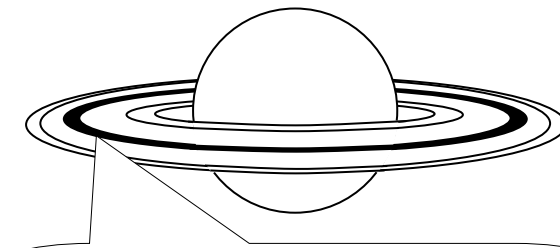


土星の衛星

土星には 60 個以上の衛星があります。その名前は、ギリシャ神話の巨人の名前や、北欧神話にちなんだ名前からつけられています。

土星最大の衛星はタイタンで、太陽系の中でも 2 番目の大きさを持ち、惑星である水星よりも大きい天体です。タイタンは濃い大気や雲を持ち、メタンの海などが広がることから、原始の地球の姿に近いと考えられています。

また、土星の別の衛星エンケラドゥスには地下に液体状の海があり、探査機カッシーニによる最近の調査により、その海には生命を育むことのできる環境があることが確認されました。



土星の環の幅は、地球約 5 個分並べられる広さです。環を構成する細長い環と環の間にはすきまがあり、発見者の名前がつけられています。いちばんはっきり見えるすきまは「カッシーニの隙間」と呼ばれています。

土星の環

土星の最大の特徴は、惑星本体の周りを取り囲む美しい大きな環を持っていることです。この環は CD のような 1 枚の円盤に見えますが、実際には 1000 本以上の細い環が集まって作られています。この細い環の 1 つ 1 つが、氷や岩、ちりなどが数珠のように連なってできたものです。

最も外側にある環の直径が約 27 万 km もあるのに対し、厚みは数十メートルしかなく大変薄いので、環の傾きが真横になるとほとんど見えなくなります。

土星の見どころ

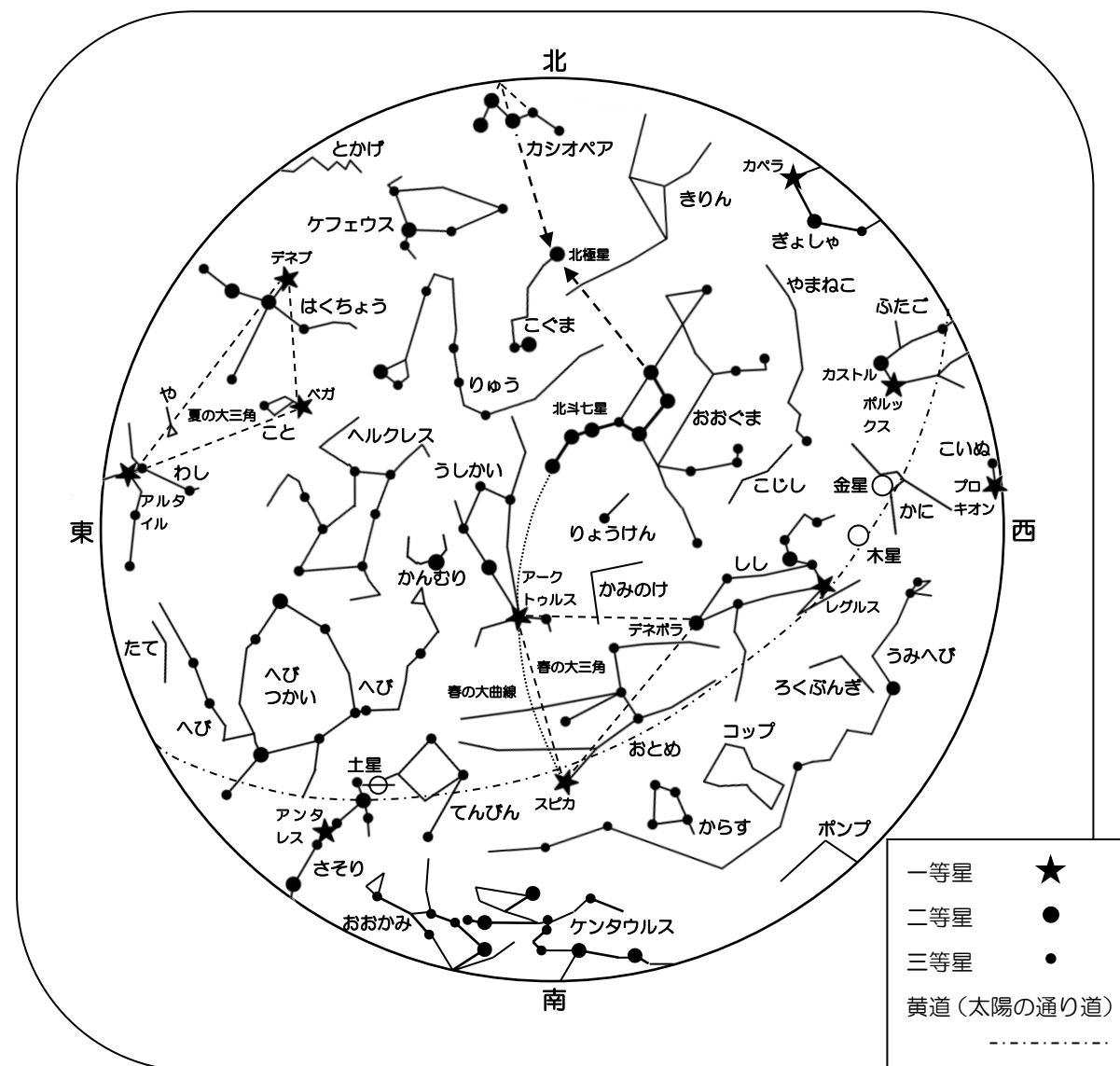
5 月 23 日にてんびん座近くで衝(地球を挟んで太陽と正反対の位置になるため一晩中観測ができ、大きく明るく見える状態)を迎えた後、しばらく観望の好機が続きます。

5 月～9 月までてんびん座付近で輝いている姿が観測できます。特に見頃となるのは 7 月で、20 時頃には南の空に見えます。また、土星の環の傾きも大きくなり、環の様子を観察するのに適しています。

さそり座にも近いので、さそり座の 1 等星アンタレスと共に楽しめます。

季節の星空

6 月 15 日 20 時頃の松本の星空



6 月の主な天文情報

3(水) 満月

7(日) 金星が東方最大離角

13(土) 金星とかに座のプレセペ星団が接近

16(火) 新月

20(土) 月が金星の南を通る

21(日) 月が木星の南を通る

22(月) 夏至

25(木) 水星が西方最大離角

29(月) 月と土星が接近

★
とうほうさいだいいり かく
東方最大離角→地球から見て、内惑星が太陽から東へ最も離れて見える角度です。地上からは、日没直後の西の空で惑星が見えます。

★
せいほうさいだいいり かく
西方最大離角→地球から見て、内惑星が太陽から西へ最も離れて見える角度です。地上からは、日の出前の東の空で惑星が見えます。

☆ ☆ ☆ プラネタリウム事業案内 ☆ ☆ ☆

6/13(土) ☆星空散歩・星の観望会 19:30~21:00

天体望遠鏡を使って、季節の天文現象を観測します。

(天候不順で観測ができない場合はプラネタリウムをご覧ください。)

受付開始:6/6(土) 8:30 より

定員:40 人(小学生以上。高校 3 年生以下は保護者同伴)

6/27(土) ☆太陽観測 9:00~10:15

天体望遠鏡を使って、太陽のプロミネンスや黒点を観測します。

専用のフィルターを使用し、安全に観測できます。

(天候不順で観測ができない場合はプラネタリウムをご覧ください。)

受付開始:6/20(土) 8:30 より

定員:15 人(小学生以上。小学校 6 年生以下は保護者同伴)

7/ 4(土) ☆親子プラネタリウム 13:30~

親子連れの方を中心に楽しめるよう、番組の無料投映を行います。

今回のテーマは「七夕と天の川」です。申し込み不要。先着 90 人。

7/11(土) ☆天体望遠鏡操作技術講習 18:00~21:00

教文センター屋上に設置されている、天体観測室と大型天体望遠鏡の扱い方についての講習です。

受付開始:7/4(土) 8:30 より

定員:5 人(高校生以上で、普通の望遠鏡の操作に慣れている方。

未成年は保護者同伴)

※事前申し込みが必要な事業についての受付は、電話受付のみとさせていただきます。

夏至のフシギ

6 月に入ると東の夜空から夏の星座が上り始めます。日本の暦では今年の 5 月 6 日の立夏からすでに夏を迎えていて、暦の上で夏の季節の真ん中に当たるのが 6/22 に迎える夏至の日になります。

夏至とは、黄道(地球から見た太陽の通り道)を、地球を中心に 1 年で 1 周する大きな円としたとき、春分点(黄道の始まる点)から 4 分の 1(=90 度)の場所に太陽が来る時のことを言い、夏至の日はそれが起こる日を指します。

夏至の日は、日の出・日の入りの位置が 1 年のうちで最も北寄りになり、太陽の高度が最も高くなります。そのため、夏至の日は昼間の時間が 1 年のうちで最も長くなり、冬の季節の真ん中に当たる冬至と比べると約 5 時間も長くなります。ただし、日の出が 1 番早い日、もしくは日の入りが 1 番遅い日が夏至の日というわけではありません。

夏至の日は年によって異なり、6 月 21 日か 22 日になることが多いようです。